

1 背景とねらい

平成元年度に生産費把握システム「コストくん」を普及奨励に移すべき事項に供したが、さらに経営の効率化によるコスト低減を図るなどの経営管理手腕が問われる状況になってきた。

そこで従来の「コストくん」を農水省の生産費調査の見直し改正に対応させるとともに、経営の総合的な検討が行えるよう、集計できる作物を追加し全ての農産物に対応させたようにしたこと、および操作性の向上等システムの改善を行った。

2 技術上の内容

(1) 費用集計ファイルの変更と集計作物の追加

従来集計できる作物は水稻・野菜・果樹等であった。今回はこれらに加えて畜産物と繭を追加した。(表1)

(2) 費目分類の見直し

農水省の農畜産物生産費調査の改正に併せて集計費目を一部変更追加することにより、現場で費用として意識されているものを費用として計上し、農業経営上の実感に極力近づけるようにした。(表2)

(3) 操作性の改善

ア 集計用の費用ファイルやシステムのメニューを実態に合わせるとともに、入力 of 簡略化を図った。

イ 労働費の家族分についてはあらかじめ時間単価を入力している。

ウ 集計結果をA4用紙に印刷できるようにした。

3 指導上の留意事項

(1) 本システムの使用環境は次のとおり。

○使用機器 NEC PC-9801シリーズのコンピューター一式

○使用ソフト Lotus 1-2-3 R2.1以上

(2) 計算結果は見直し前の生産費とは厳密には対比できないこと。

(3) 従来の「コストくん」では労働時間集計機能があったが、新システムではこの機能を削除している。なお、労働時間の集計には「農作業日誌分析ver.3(ソリマチ)」が使用できる。

表-1 集計ファイルの変更と追加

コストくん	コストくん ' 9 4
<p>水稲費用ファイル 生産物単位60kg当りの集計を行い園芸施設費のない作物（水稲、麦類、豆類等）。</p> <p>野菜費用ファイル 野菜等の園芸施設費を計上、成園費は計上しない作物。</p> <p>果樹費用ファイル 園芸施設費、成園費が計上される作物（果樹、アスパラガス、ホップ等）</p>	<p>水稲費用ファイル 生産物単位60kg当りの集計を行い園芸施設費のない作物（水稲、麦類、豆類等）。</p> <p>園芸集計ファイル 生産物単位100kgで、園芸施設費を計上する作物。成園費についてはシステムの中で問う。野菜果樹など。</p> <p>花き集計ファイル 生産物単位100本で、園芸施設費を計上する作物。成園費についてはシステムの中で問う。</p> <p>畜産集計ファイル 牛乳、肉用牛（肥育牛、子牛）、肉豚、鶏卵の各生産物単位当り。</p> <p>繭集計ファイル 上繭1kg当り。</p>

表-2 主な集計費目分類の変更と追加

改正前	改正後	備考
<p>肥料費 農業薬剤費 光熱動力費 その他の諸材料費 水利費 賃借料及び料金</p> <p>建物及び土地改良設備費 園芸施設費 農機具費 成園費 畜力費</p> <p>労働費 家族</p> <p>雇用 費用合計 副産物価額 第1次生産費 資本利子</p> <p>地代</p> <p>第2次生産費 (資本利子・地代算入)</p> <p>物財費</p>	<p>物財費 肥料費 農業薬剤費 光熱動力費 その他の諸材料費 土地改良費及び水利費 賃借料及び料金 物件税及び公課諸負担</p> <p>建物費 園芸施設費 農機具費 成園費</p> <p>生産管理費</p> <p>労働費 家族</p> <p>雇用 費用合計 副産物価額 生産費</p> <p>支払利子 支払地代 支払利子・地代算入生産費</p> <p>自己資本利子 自作地地代 資本利子・地代全額算入生産費 (全算入生産費)</p>	<p>流動財費と固定財の減価償却費</p> <p>維持費、償還金のうち負担部分を計上</p> <p>生産を維持・継続していくうえで必要なものを新たに算入 取得価額20万円以上のものを償却資産として扱う 耐用年数経過後、計上しない</p> <p>生産管理労働に付随する費用を算入</p> <p>時間単価は毎月勤労統計を利用 労働時間に生産管理労働を算入</p> <p>基礎原価的性格</p> <p>実支払い額を計上 実際支払った借入れ地代</p> <p>年利率4% 自作地見積地代 実際には支払を伴わない自己資本利子 自作地地代を擬制的に計算</p>

注) 畜産物及び繭生産費に関しては、上記以外の特異な費目もあるが、ここでは割愛した。なお、システムの中ではそのような品目も用意している。